

天覧の「落合吉藺秘史」

シリーズ続編を世に出し続ける

落合吉藺秘史

刊行会のご案内

執筆者 原資料 吉藺周蔵

解読・解説 落合莞爾

From リアルインサイト 中森護

突然ですが、落合吉藺秘史シリーズをご存知でしょうか。

きっと、このレターをご覧になっているあなたであれば、すでにご存知だと思います。落合先生に関心があれば、このレターに出会うことはないからです。

とはいえ、もしかしたら初めて知る方もいらっしゃるかもしれません。

そんなあなたのために、簡単にご紹介いたします。

落合先生がかつて月刊情報誌『ニューリーダー』に連載した「陸軍特務吉藺周蔵の手記」を、その後知り得た歴史的知見をもって補充および補正したものが、落合吉藺秘史シリーズです。

陸軍大将上原勇作の個人付特務(諜報工作員)の吉藺周蔵がその経験と見聞を記した「周蔵手記」を遺

児の吉蘭明子氏から渡された落合先生が、時代背景と照合して解読し検証したもので、いわゆるノンフィクションになります。

2017年5月10日に発行された第一巻『「吉蘭周蔵手記」が暴く日本の極秘事項』を皮切りに、2018年7月10日までのたった1年2ヶ月間で、第五巻まで発行してきました。

凄まじい勢いで落合先生の洞察は深化し、研究は進化し続け、著書を通して発表する事象はすべからく衝撃的な内容となっております。

特に、最新刊である第五巻「國體忍者となったタカス族とアヤタチ 周蔵手記が明かす『サンカ』の正体」では、その序章にて、落合先生は極めて衝撃的な情報に触れています。それは、こちらです。

「周蔵手記には」には「ヤマゴ」が登場するが、記述から推測されるその職能は山林労働であるから、タカス傘下の西大寺衆との間に職能的にかなりの隔たりを感じるが、周蔵が両者をほとんど同一視するのを一概には否定できない。

これに関する「別紙記載」の記事を掲げると、①「冷えもん取り」の際にタカスの残り物をヤマゴがあさる、と耳にしている林次郎が、最後はそういう種が勝ち残ることになるだろうという、②政雄は、それが「宮家の姿」だという。

見ての通り、①タカスとヤマゴおよび、②タカスと宮家(=公家衆)の関係を示しているが、**奥底を探求するまでの余裕が本稿にはなかった**ので、**とりあえず宿題として次巻以降に残すこととし、本稿は、ヤマゴと宮家(公家衆)およびタカス族の相関関係には、敢えて立ち入らないこととする。**

ヤマゴと宮家(公家衆)およびタカス族の相関関係。

落合先生が敢えて立ち入らなかったその先を知りたい人は、数え切れないほどいらっやったことでしょう。これほど、飽くなき好奇心と知的探究心を揺さぶられることはない。きっと次巻以降、楽しみでならないはずです。

しかし、状況は希望から絶望へと一変しました。

2018年7月10日に発行した第五巻を最後に、落合吉蘭秘史シリーズ続編の刊行ができなくなりました。つまり、第六巻以降を入手する手段がなくなったという**危機的状況**に陥りました。

その理由が外部からの圧力なのか、それとも、出版社内部の事情なのかは定かではありません。状況変化の事実確認は確かに重要ではございますが、それよりも、もっともっと重要なことがありました。

危機的状況に陥ったその時には、

すでに第六巻が書きあがっていたのです。

落合吉蘭秘史シリーズ続編を待ち焦がれているあなたのために何よりも優先すべきはこれを世に出すこ

と。ただし、外部圧力の可能性を否定できない以上、出版社を更迭すればいいという話ではありません。

第六巻を含めた今後の落合先生ご著書の刊行を、真に落合先生を慕い、かつ学ぶ意志があり、そして、落合史観の深化、落合先生の研究を心から応援したいという方だけに、限定する必要があります。

そして、その限定されたクローズな機関はすでに存在します。

落合吉蘭秘史シリーズ続編を刊行できない危機的状况に対し、落合先生自ら緊急対応をとったのです。

その結果、発足した会員限定の機関こそが、

落合吉蘭秘史刊行会

です。

「落合吉蘭秘史刊行会」とは、天覧・台覧の落合吉蘭秘史シリーズ続編を刊行し、購読することのできる世界唯一の組織です。

2018年10月に発足してからこれまでの間、会員として集った仲間同士で落合先生の洞察の深化と研究の進化を支え続けています。落合先生の研究をお支えすることで、吉蘭周蔵手記の解明に寄与し、日本史の展望を急速に開くことを目的とします。

きっと、このレターをお読みのあなたであれば、落合先生をお支えすることに異論はないはずです。むしろ、心からそう思っていることと思います。おかげさまで、刊行会発足以降、



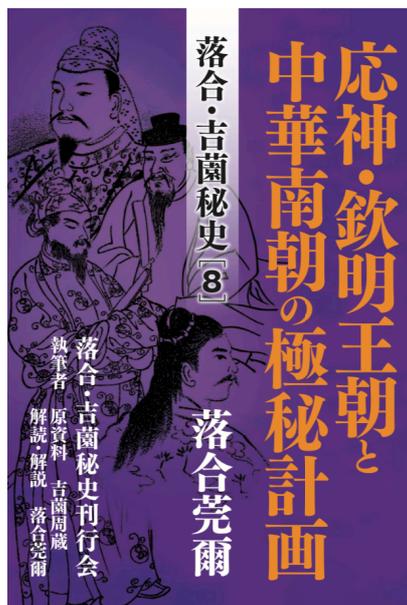
第六巻『活躍する國體参謀』



第七巻『三種の蝦夷の正体と源平藤橘の真実』

を発行し、会員の皆様の元へお届けすることができました。

そして、すでに第八巻『応神・欽明王朝と中華南朝の極秘計画』の製本作業を進めており、早ければ今月中に発行できる見込みです。



第八巻『応神・欽明王朝と中華南朝の極秘計画』

落合吉園秘史刊行会を発足していなければ、会員の皆様が落合先生をお支えしていなければ、第六巻以降の発行は極めて不可能に近かったですよ。

もちろん、一般市場に一切流通していないため、書店やアマゾンで入手することはできません。

ここまでお読みになったあなたであれば、きっと落合先生をお支えする同志になりたいと強く願っているのではないのでしょうか。そして、落合吉園秘史シリーズを読み続けることができる特権を手に入れたいと思っているのではないのでしょうか。

そんなあなたのために、「落合吉園秘史刊行会」の概要をご案内いたしますので、ぜひ今すぐご確認くださいませ。

落合吉園秘史刊行会

〈会員限定刊行概要とご入会方法等のご案内〉

会員限定刊行概要のご案内

「落合吉蘭秘史刊行会」にご入会頂いた方限定で、落合吉蘭秘史シリーズ第六巻以降を毎月刊行しています。2018年10月発足以降、第六巻は上・下の二回に分けて、第七巻以降は上・中・下の三回に分けての刊行してまいりました。

2019年6月からは第九巻を上・中・下の三回に分けて刊行し、2019年9月以降は第十巻を引き続き刊行する予定です。

実際の刊行物は「会員専用サイト」にログイン後、PDF形式(ダウンロード可)にてご提供いたします。会員専用サイトへのアクセス方法は、ご入会と同時にご案内いたします。

それでは、第八巻以降の刊行スケジュールと今月配信中の第八巻(上)の目次をご案内いたしますので、ご確認くださいませ。

ご入会日	2019年7月15日	2019年8月15日	2019年9月15日	2019年10月15日	2019年11月15日	第十一巻以降についても同様のスケジュールで刊行予定
第九巻(上) PDF形式	第九巻(中) PDF形式	第九巻(下) PDF形式	第十巻(上) PDF形式	第十巻(中) PDF形式	第十巻(下) PDF形式	

【2019年6月号 第九巻(上)目次】

■上編 解説部

●第一章 暗号解読を甘粕から教わる

- 大正十四年3月末ピ条
- 暗号手紙の解読
- 暗号手紙の伝える内容
- 次の暗号手紙の解読も満点
- 上原閣下の人生哲学
- 奉天秘宝の商談成功を聞く
- パリの佐伯を危ぶむ兄と周蔵
- 薩摩治郎八のはまった陥穽
- 薩摩治郎八との再会
- パリで薩摩工作に当たる同志の思想と力量

●第二章 工作溢れる大正日本

- 上原と田中・宇垣の不和
- 石光は帰国していた
- 呉秀三が「虎の門事件」に巻き込まれる
- 憂鬱な周蔵
- 薩摩父子は海軍を工作中

- ☑国際人とは浮藻のようなもの
- ☑布施一は後藤新平の「草」
- ☑後藤新平の素性
- ☑ポンピド一家で夕飯を馳走になる

●第三章 ロマノフ金塊の日本移送

- ☑帝国女子医専の発足
- ☑周蔵を勧誘した額田兄弟
- ☑若松安太郎と親しく話せるようになる
- ☑浮かれ狸の二階堂が来る
- ☑シベリア金塊事件と上原元帥
- ☑第六巻二〇三頁の再掲
- ☑機密費横領事件の始末
- ☑薩摩治郎八の結婚
- ☑命運を分けた二人の令嬢
- ☑中野正剛に棄てられた女を買切る
- ☑佐伯祐三が帰国

●四章 大正まさに終わらんとす

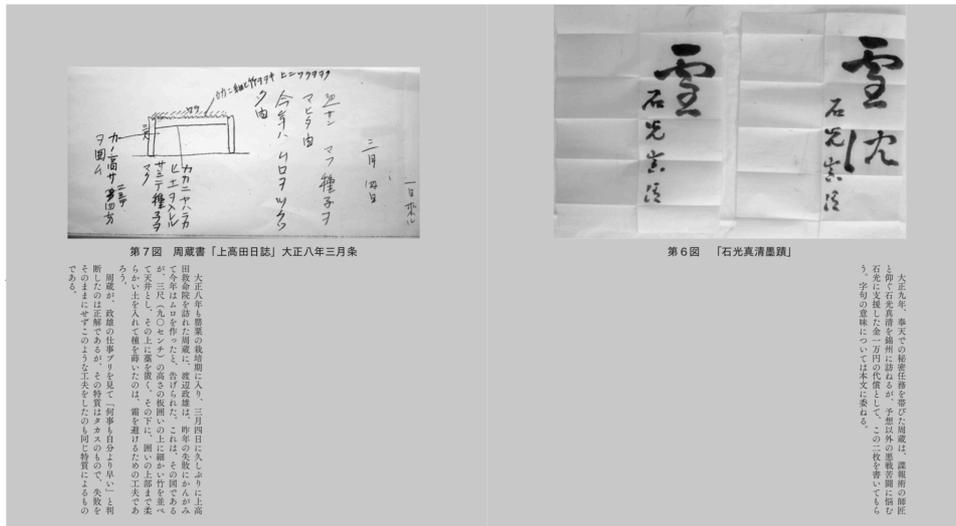
- ☑大磯に佐伯の住居を手配
- ☑大谷光瑞の指令で結婚した佐伯兄弟
- ☑米子との関係を告白した佐伯祐正
- ☑弟の才能に振り回された兄
- ☑上原勇作の術策
- ☑皮を切らせた上原勇作
- ☑甘粕出獄の近きを知る

さらに、「落合吉蘭秘史刊行会」では、会員限定で**吉蘭周蔵関係資料**を開示しています。

吉蘭周蔵関係資料とは、**吉蘭周蔵手記**、**上高田救命院日誌**、**佐伯祐三の絵画や遺品**など、いずれも見る人が見ればきわめて重要な意味がある歴史資料です。

その重要性のため、吉蘭周蔵関係資料の多くは遺族の手を離れ、國體勢力が保管してきたようです。現在、その大部分は落合先生の手元に送られ、保管されています。

「落合吉蘭秘史刊行会」では、落合先生の手元にある吉蘭周蔵関係資料をひとつずつ、必要に応じて落合先生の解説をつけながら、毎月 25 日を目安に開示しています。



会費のご案内

「落合吉蘭秘史刊行会」の会費は**月額制(クレジットカード払い)のみ**とさせていただきます。落合先生は、今後も精力的に刊行を続けていくことを宣言しておられますが、現実として従来通りの出版ができなくなってしまった以上、いつ何時、状況が一変するかわかりません。そのため、年額一括払いは控えさせていただきます。

また、決済システムの都合上、銀行振込による毎月のお支払いは承ることができなくなっております。大変お手数ではございますが、ご入会の際には、必ずクレジットカードをご用意頂きますようお願い申し上げます。

それでは、気になる会費をご案内いたします。

「落合吉蘭秘史刊行会」の会費は、**月額 1,080 円(税込)**とさせていただきます。

「落合吉蘭秘史刊行会」は、定期購読型のサービスになりますので、更新のために面倒なお手続きは必要ありません。翌月分の利用料 1,080 円が、2019 年 7 月 1 日にご指定のクレジットカードで自動的に決済され、2019 年 7 月 15 日に「第九巻(中)」をお読み頂けます。

つまり、6 月 15 日に入会しても 6 月 20 日に入会しても、7 月 1 日に 1,080 円が課金されます。翌々月は、8 月 1 日に 1,080 円が課金されます。

途中でやめたいと思ったら、課金日までにご退会手続きをされますと、次回から料金は一切発生しません。(※ご退会お手続きをされる時点で、全ての刊行物の閲覧権限が失われます)。

キャンセルされる際は、方法は以下の 2 通りです。

方法 ①:ご自身で最も確実に、早くお手続きできる退会方法です。

翌年の課金日までに、サイトから退会申請を行ってください。

(詳細はご入会後にご案内いたします)

方法②:ご退会の旨をカスタマー・サポートまで、メールでご連絡ください。

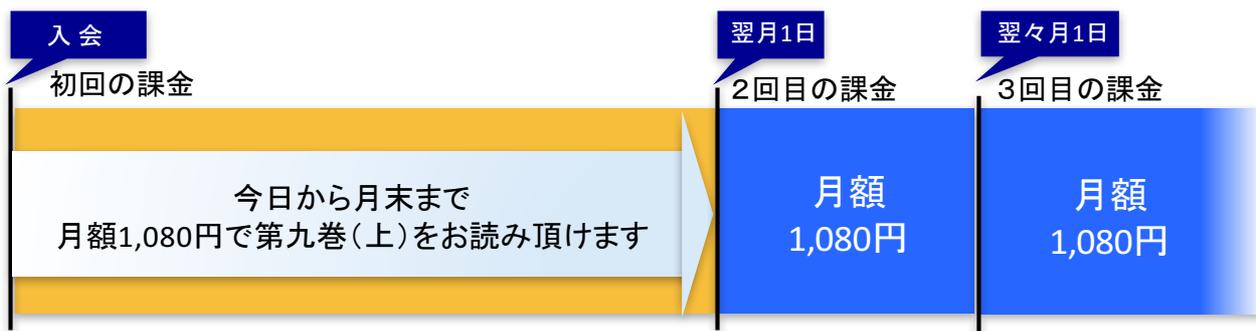
[カスタマー・サポート]

メールでのご連絡: support●imperialeyes.com (迷惑メール対策のため@を●に変えています)

件名に「落合吉蘭秘史刊行会 退会」とお書きください。

(24 時間受付、返信は通常2営業日以内の平日に差し上げます)

ご入会以後の課金予定を整理すると下図のとおりになります。



【例】6月20日にご入会 → 6月30日まで自由に刊行物閲覧 → 7月1日月額1,080円課金されます。
7月以降も継続される限り閲覧可能です。 ※キャンセルがなければ7月1日に自動課金
※キャンセルされる場合 (その後もご退会はいつでも自由)
6月30日までにご自身でお手続き ※刊行物は毎月15日に配信していきます
※ご退会手続きをされる時点で
全刊行物の閲覧権限を失効されます。

もし、どうしてもクレジットカードのご用意が難しいようでしたら、銀行振込のみ年額(12,960円)一括払いを検討いたしますので、お問い合わせくださいませ。ただし、**状況が一変した場合、ご返金できなくなってしまうこと**をご了承お願いいたします。



6月号限定入会特典 第九巻製本版プレゼント (先着 30 名様)

「落合吉蘭秘史刊行会」にご入会になる皆様の中には、電子データよりも印刷物の方が読みやすいという方、はたまた、落合吉蘭秘史シリーズ第八巻以降を「**本棚に永久保存したい**」という方もいらっしゃるでしょう。そんなあなたのために、第九巻(上・中・下)を合本・製本したうえで、**入会特典としてプレゼント**いたします。(実際のお届けは、2019年9月を予定しています)

ただし、ご存知のとおり印刷・製本・発送には多大なコストがかかります。すべてのご入会者にプレゼント

することはできません。現時点の見通しでは、今月新規会員様にプレゼントできる製本版書籍は多く見積もって **30 冊**。先着順のプレゼントがもっとも公平でしょう。

また、**海外住所へお届けする場合**、会費だけでは経費をまかないきれないため、**別途送料を頂戴します**ことをご了承お願いいたします。

第十巻以降も随時製本する予定ですが、会費のみで第九巻製本版を手に入れることができるのは、**今月ご入会になった方**だけです。しかも、先着 30 名様。ぜひ、今すぐご入会くださいませ。

〈ご入会方法と注意事項〉

ご入会をご希望の場合は、下記のボタンをクリック後、案内にしたがって必要事項をご記入の上、お手続き下さい。**今回の募集は【6月21日(金)】までとさせていただきます。**

ここをクリックして
今すぐ入会する

※お支払いはクレジットカード月額(1,080円)払いにてお願いしております。

※銀行振込年額(12,960円)一括払いをご希望の方は、別途ご相談くださいませ。